

# 車中泊避難 課題解決へ 熊本市 大学、民間と協定

熊本市・崇城大学・Bosai Tech 株式会社



車中泊の課題解決に向けて協定を結んだ  
(左から) 崇城大の小野長門学長、熊本市の大西一史市長、「Bosai Tech」の田中洋平代表=11日、市役所

熊本市と崇城大、コンサルタント会社「Bosai Tech」(熊本市)は11日、災害時の車中泊避難の課題解決に向けた協定を結んだ。行政・大学・民間の三者で連携して研究し、

避難者の実態把握やエコノミークラス症候群への対策などに役立てる。

車中泊は、自治体が避難状況を把握するのが難しく、物資や医療が行き届かないことが課題。2016年の熊本地震では、多くの被災者が車中泊を経験した。

研究では車中泊避難の課題を洗い出し、解決に向けた避難者支援のガイドラインを作成する。熊本市は熊本地震時の避難状況といった情報を提供。崇城大はデータの分析やデジタル技術を活用した解決策を検討する。熊本地震や能登半島地震で避難所支援の実績がある「Bosai Tech」は効果的な支援の提言などを行う。

この日は、大西一史市長、崇城大の小野長門学長、同社の田中洋平代表が協定書に署名した。(山下雅文)